

平成 23 年度調査研究事業一覧

(2) 発展的調査研究 (11 件)

(単位：円)

	研究者	研究題目・解決課題	基金助成額
1	北里大学海洋生命科学部 教授 森山 俊介	題目：サケの卵巣外皮から調製した機能性成分の水産 増養殖への活用法の検討 取組：1. 成長促進因子の解析 2. 機能性飼料の試作 3. 機能性飼料の有効性の検証	1,000,000
2	東北大学大学院農学研究 科 教授 遠藤 宜成	題目：養殖ワカメに被害を与える吸管虫の生物学的研 究 取組：吸管虫の由来を明らかにし、活発な増殖に必 要因を突き止める。吸管虫の細胞内遺伝子の解 析から餌生物を特定する。	1,000,000 (期間延長)
3	北里大学海洋バイオテク ノロジー釜石研究所 部長 志津里 芳一	題目：三陸イサダ乳酸発酵品の新規機能探索研究 取組：イサダ由来の未知のペプチドについての詳細な 検討	1,000,000
4	北里大学海洋バイオテク ノロジー釜石研究所 部長補佐 笠井 宏朗	題目：三陸ご当地酵母の採集と利用 取組：1. 三陸ご当地酵母の採集 2. 三陸ご当地酵母の実用性の評価 3. 三陸ご当地酵母の実用試験	1,000,000
5	岩手生物工学研究センタ ー 研究員 山田 秀俊	題目：イサダ（ツノナシオキアミ）による脂肪蓄積抑 制効果の解明 取組：肝臓、筋肉、脂肪に対するイサダ水溶性抽出物 摂取による血中マーカー値の変化、イサダ水溶 性抽出物が作用するシグナル経路の解析	1,000,000
6	岩手生物工学研究センタ ー 主席研究員 矢野 明	題目：新規食品開発のためのナマコ機能性研究 取組：ナマコの抗真菌活性、特にカンジダ菌に対す る抑制効果を確認し、抗真菌活性を持つ食品開発 と安全性・有効性の評価を実施。	1,000,000
7	北里大学海洋生命科学部 講師 三宅 裕志	題目：三陸沿岸におけるミズクラゲ類の生態について 取組：三陸沿岸におけるミズクラゲの生活史を明ら かにする。 潜水艦をもちいて、表層から深海までのキタミ ズクラゲの鉛直分布を観察する。	1,000,000
8	北里大学海洋生命科学部 講師 三宅 裕志	題目：三陸沖日本海溝海底の亀裂中に存在する海底ゴ ミと現場生物に関する調査 取組：1. 深海調査への参加 2. 得られたサンプルから目的微生物の分離 3. 分離された微生物の性能試験	1,000,000

	研究者	研究題目・解決課題	基金助成額
9	岩手大学工学部 助教 晴山 涉	<p>題目：三陸北部地域におけるごみ減量化・資源化プロセスの構築</p> <p>取組：1. ごみの減量化に関する事業者・住民意識のアンケート調査</p> <p>2. ごみの資源化に関する事業者・住民意識のアンケート調査</p> <p>3. 久慈市におけるプラスチック製容器包装分別回収におけるごみ組成調査</p>	1,000,000
10	岩手県農業研究センター 主任専門研究員 藤尾 拓也	<p>題目：夏秋どりイチゴの9月以降の収量を向上する温度・日長制御技術の研究</p> <p>取組：天然冷水源を利用した低コストな降温技術の現地実証を行い、効果を確認。四季成り性イチゴに対し6月7月に短日処理を行い、花芽の分化を抑制し、収穫量のコントロールが可能である事を確認。</p>	1,000,000
11	岩手大学農学部 准教授 平野 紀夫	<p>題目：マウスウイルスを用いたカキのヒトノロウイルス濃縮機序の解明とウイルス浄化法の確立</p> <p>取組：生食用マガキのヒトノロウイルス（HN V）汚染の防止法と汚染カキ浄化法を確立するために試験管内で増殖定量可能なマウスノロウイルス（MN V）の感染価を指標として実験を行う。</p>	1,000,000
			<p>基金助成額計：10,000,000 円</p> <p>延長分1件：1,000,000 円</p>